

# 佐渡市立図書館ビジョン（叩き台）

～佐渡市の目指す図書館像～



平成31年3月  
佐渡市教育委員会



# はじめに

○佐渡市における現状(人口減少、過疎化、少子高齢化等)

○図書館としての役割

○時代の変化に対応した事業展開

○市民の役に立つ存在となることを目的として策定したビジョンであること

# 目次

## 佐渡市立図書館ビジョン

全文(はじめに)	1
1 図書館ビジョンを策定する目的	3
2 図書館ビジョンの位置付けと実施期間	4
3 図書館ビジョン策定の方法	5
4 図書館ビジョン策定の背景	6
5 佐渡市の目指す図書館像	7
(1) 図書館運営の理念	
(2) 佐渡市の目指す図書館像	
6 今後の取組の方向	8
(1) 佐渡市の目指す図書館像の実現に向けて	
7 評価	19
(1) 基本的な考え方	
(2) 評価指標と評価方法	

### 付属資料

- 1 平成29年度佐渡市図書館・図書室利用者アンケート調査及び結果の概要
- 2 佐渡市図書館協議会委員名簿



# 1 図書館ビジョンを策定する目的

- 佐渡市の市町村合併からの運営状況
- オンライン化等の図書館システムの構築
- 社会経済情勢の変化による財政計画
- 図書館を取り巻く動向や市民要望に応えるための必要性
- 中長期的な図書館像についての明確した目的の必要性



## 2 図書館ビジョンの位置付けと実施期間

### 1 図書館ビジョンの位置付け

○「佐渡市将来ビジョン」をはじめとした、教育行政「佐渡市教育振興基本計画」等

○子どもの読書活動を推進する「佐渡市子ども読書活動推進計画」

○公共施設の効果的、効率的な運営を推進するための「新市建設計画」等

関連計画や方針を踏まえた図書館ビジョンとしての位置付け

### 2 実施期間

○中長期的な図書館像として実施期間を設定する。

### 3 図書館ビジョン策定の方法

○ 平成29・30年度の2か年で図書館協議会から意見・提言を受け、佐渡市教育委員会が策定する。

・ 「佐渡市将来ビジョン～平成29年3月変更～」と「佐渡市教育振興計画」に基づいたものとする。

・ 平成30年度に開催した「図書館・図書室を考える懇談会」での意見・要望を重視する。

・ 毎年度実施している図書館の実態集計・各種評価活動を重視する。

・ 平成29年12月から平成30年1月に行った「佐渡市図書館・図書室利用者アンケート」の調査結果及び分析を重視する。



## 4 図書館ビジョン策定の背景

1 佐渡市の市町村合併

2 「1 中央図書館4つの地区図書館、5つの分室  
(図書室)」の在り方を検討

3 「佐渡市将来ビジョン～平成29年3月変更～」と  
「佐渡市教育振興計画」

4 国の図書館政策

## 5 佐渡市の目指す図書館像

### (1) 図書館運営の理念

『人づくりを支え、情報と地域の知の拠点として創造する図書館』

### (2) 佐渡市の目指す図書館像

次の5本の柱を「佐渡市の図書館像」とします。

- I 次世代を担う子どもの親しむ環境づくりと学び成長を支援する図書館
- II 「いつでも・どこでも・だれでも」利用しやすい活動の拠点となる図書館
- III 佐渡の宝(文化・歴史・自然)を収集・保存・継承し、資料の充実した魅力ある図書館
- IV 生涯学習の支援と市民参画・協働を推進し、市民と共に歩み愛される図書館
- V 積極的な情報発信と市民要求・課題解決を支援する機能的なサービスを行う図書館



## 6 今後の取組の方向

### 佐渡市の目指す図書館像の実現に向けて

#### I 次世代を担う子どもの親しむ環境づくりと学び成長を支援する図書館

##### 施策1 子どもが読書に親しむ機会の充実

- 1 読み聞かせ、おはなし会等の行事を通じて子どもに対する読書支援を行う。
- 2 ブックファースト事業の実施を行ない、乳児から本に触れるきっかけづくりを推進していく。
- 3 子どもたちの表現力や創造力を高める、本との出会いや感動を通じた読書体験型のイベントを企画する。

事業	平成30年(現在)	平成40年(目標)
読み聞かせ・おはなし会等	回	回
ブックファースト事業	人	人
体験型イベント	回	回

## 施策2 子どもの学びと成長を支援

- 1 子どもの知識を深め、豊かな感性を磨き、創造力を豊かに発展させることができる資料収集を行う。
- 2 職場体験等の積極的な受け入れを行ない、子どもたちに働くことに対する意識を高めると同時に、図書館に関心をもってもらい、図書館の活用方法を身に付けるように取り組む。

事業	H30(現在)	H40(目標)
蔵書冊数(児童)	冊	冊
職場体験受入	回	回

## 施策3 関係機関等との連携

学校図書館の一層の充実のため、学校司書及び学校図書館関係者との連携を密にし、蔵書の充実・体制整備を図り、子どもたちがより多くの本に触れ、児童・生徒にとって身近な図書館になるよう取組を行う。

事業	H30(現在)	H40(目標)
図書館連携会議	回	回

## Ⅱ 「いつでも・どこでも・だれでも」利用しやすい活動の拠点となる図書館

### 施策1 施設の整備と管理運営

- 1 安全で安心して誰もが快適に利用できるよう、計画的な施設・設備の整備に取り組みます。
- 2 外国人や高齢者・障がい者・乳幼児などが利用しやすい優しい環境づくりに努めます。
- 3 市民の安全を守るための、防災・危機管理体制を強化し、地震等の災害や事件・事故等の危機発生時に適切な対応ができるよう、日頃から職員の危機管理意識を高める取り組みを行います。

事業	H30(現在)	H40(目標)
図書館施設管理事業		
防災・危機管理体制 マニュアル作成		

## 施策2 図書館運営の効率的な推進

- 1 市民参加型の図書館運営を推進し、地域コミュニティの活性化に努めるため、必要な本や情報などを利用しやすい環境に整え、講座室等の開放に努め、読書を愛する市民が集い、交流する場の提供を行います。
- 2 中央図書館の抜本的な充実整備と分館の機能や役割分担を明確にし、中央図書館を核として地域の特性を生かした図書館運営が行える体制づくりを進めます。

事業	H30(現在)	H40(目標)
講座室一般開放		
図書館・図書室の資料の入替		

### 施策3 市民のだれもが利用できる環境の整備

- 1 予約図書を受取や返却のできるサービスポイントの設置を行う。
- 2 体の不自由な方等を対象に郵便局、ヤマト運輸等の佐渡市と連携協定を結んだ団体による宅配サービスを行う。
- 3 遠隔地の方へのサービス充実を図るため、移動図書館（ハローぶっく号）の利用促進に努める。

※ 利用者に効率的に資料を届けられる物流体制を整える。

事業	H30(現在)	H40(目標)
予約図書を受取場所 返却場所	箇所	箇所
宅配サービス	件	件
移動図書館運行	箇所	箇所

### Ⅲ 佐渡の宝(文化・歴史・自然)を収集・保存・継承し、資料の充実した魅力ある図書館

#### 施策1 郷土資料の充実と市民がふれる機会の提供

- 1 佐渡の歴史や偉人等の郷土を学ぶ資料の収集、保存、提供を行います。
- 2 佐渡金銀山、佐渡ジオパーク、佐渡農業遺産、朱鷺等の資料の収集、保存、提供を行います。
- 3 郷土資料等に市民がふれる機会の充実や、収集蓄積した資料を提供できる環境整備を行います。

事業	H30(現状)	H40(目標)
郷土資料等の受入	冊	冊
学習会・研修会の開催	回	回

## 施策2 生涯学習活動の支援と関係機関等との連携

- 1 世界的視点で過去・現在・未来を考える知の拠点を目指し、利用者の求める情報への的確な回答を迅速に対応し、市民の生涯学習活動の支援を行います。
- 2 文化財団等の団体や関係機関等の連携を図りながら各種事業の展開を行ないます。

事業	H30(現状)	H40(目標)
職員研修会への参加		
関係機関会議への参加		

## IV 生涯学習の支援と市民参画・協働を推進し、市民と共に歩み愛される図書館

### 施策1 魅力的な蔵書の構築

- 1 あらゆる年代の市民が読書に親しみ、それぞれのライフステージにおいて学習できるよう、また多様化する市民の学習ニーズに対応できるよう資料の充実及び資料提供を行ないます。
- 2 いろいろな年代の人が来やすい図書館を目指し、資料の「企画展示」の開催や、「おすすめ本」等の、本に触れるきっかけづくりを行ないます。
- 3 中央図書館や各分館の蔵書全体を見直し、定期的に図書館資料の入れ替えを行うことでの利用の活性化を図ります。

事業	H30(現状)	H40(目標)
資料の企画展示等		
図書資料の入れ替え		



## 施策2 市民参加型の協力体制と市民活動の支援

- 1 市民参加型の協力体制整備を構築するため、市民との協議による図書館運営を推進し、地域コミュニティの活性化に努めます。
- 2 読書活動を支えるボランティア団体や図書館を拠点に活動する団体等への育成と支援を行い、図書館機能を高めるほか、市民の交流拠点として、市民活動を支援します。
- 3 市民からの質問や読書相談に応え、子どもへの読み聞かせやブックトークなどの充実を図るために、専門性や知識向上のため、職員の研修を継続的に努め、図書館・図書室職員の資質向上を行ないます。

事業	H30(現状)	H40(目標)
ボランティア団体の育成と支援		
研修会等の開催		

## V 積極的な情報発信と市民要求・課題解決を支援する機能的なサービスを行う図書館

### 施策1 図書館システムを活用したサービスの充実

- 1 市内の図書館・図書室のネットワークを一層充実し、レファレンスサービスの質を高めるとともに、「相互貸借サービス」等により、所蔵していない情報の提供機能を強化し、ネットワークによる機能的なサービスが出来る図書館とします。
- 2 読みたい本や雑誌、調べたい本等の資料を探しやすくする資料検索端末の充実に努め、本などの資料の貸出・予約サービスの充実を行ないます。

事業	H30(現状)	H40(目標)
相互貸借サービス		
ホームページからの予約サービス		

## 施策2 ホームページ等の情報発信と繋がりと学びの循環を支える図書館

- 1 図書館のホームページや資料（パンフ）等さまざまな手段を活用して事業やサービスについて積極的に情報を発信し、佐渡市の広報活動として情報発信に努めます。
- 2 市民の課題解決に必要な資料や情報を提供し、学びの支援と人材育成を促し、地域の発展に貢献し、市民の暮らしに役立つ図書館を目指します。
- 3 積極的に地域に出ていく図書館コーディネーターを配置し、子育て世代や高齢者等の支援強化を図る。

### 図書館コーディネーターの取組内容

- ・子育て支援…保育士や保健師等と連携し、読み聞かせ等の事業や本の貸出を行う。
  - ・高齢者等の支援…敬老会やサロン等の地域での集まりの際に、高齢者向けのブックトークや大活字本の貸出を行う。
  - ・寄贈本の受入と出前講座の推進…市民が保存している、貴重な本の入手を行う。
- また、郷土資料や地域の資料を活かした出前講座的な事業を展開する。



## 7 評価

### 基本的な考え方

- 1 図書館が提供するサービスや業務に関して評価を行い、その結果を基にサービス・業務の改善に努め、市民・利用者の満足度の向上を図る。
- 2 自己評価の他に、図書館協議会による外部評価を行います。
- 3 図書館利用者へのアンケート調査を行います。